

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	塩嶺野外活動センター管理事業		コード	5108	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課	
	作成者	高山 理恵			
3 事業概要	目的体系	基本目標	未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち		
		政策	生涯学習の推進	施策	生涯学習の推進
		予算科目	塩嶺野外活動センター管理事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		設置条例	岡谷市塩嶺野外活動センター		

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	青少年をはじめとする全利用者に対して、自然に親しみながら野外体験活動を通じて豊かな情操を培い、心身の健全な育成を図ることができるようセンターハウス、キャンプ場等の適切な維持管理を行う。		
目的	対象者	市民	
	意図	自然に親しみながら野外体験活動を通じて豊かな情操を培い、心身の健全な育成を図る。	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者		元年度指定管理料	円
施設における通常業務	<ul style="list-style-type: none"> ・開館期間 5月～10月（6ヶ月間） ・休館日 毎週月曜日（但し月曜日が祝日の場合は、その翌日） ・センターハウス、キャンプ場、マレットゴルフ場の維持管理 		
事業の実施内容	<p>（元年度に施設で行った運営事業・自主事業など）</p> 前年度利用者へ、開館のお知らせを送り、利用促進を図った。		
前年度の課題への対応	老朽化に伴う修繕については、随時対応する。		

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力） *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）
① 施設稼働率	39.1%	34.0%	44.7%	
年間開設日数（日）	157	158	158	158
1日の開設時間（時間）	24	24	24	24
年間利用可能時間（時間）	3,768	3,792	3,792	3,792
年間利用実績（時間）	1,475	1,288	1,696	
② 年間利用者数（人）	2,084	1,375	1,645	1,800
有料利用者数	810	719	663	700
無料利用者数	700	388	519	600
減免措置者数	574	268	463	500
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	13.3	8.7	10.4	11.4
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	5,681,072	18,432,000	4,858,356	5,358,000
経常経費	5,038,569	5,232,000	4,743,876	5,318,000
臨時的経費	642,503	13,200,000	114,480	40,000
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
正規職員の人数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40
③ 合計コスト(①+②)	8,881,072	21,632,000	8,058,356	8,558,000
前年度比		243.6%	37.3%	106.2%
財源内訳	8,881,072	21,632,000	6,998,356	7,604,000
一般財源			1,060,000	954,000
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 施設使用料年間収入額	765,750	992,000	676,190	882,000
⑤ 年間減免措置額	192,720	200,000	264,440	250,000
⑥ 受益者負担割合	16.9%	6.5%	19.4%	21.1%
⑦ 活動一単位あたりコスト	3,953	6,132	4,829	
前年度比		155.1%	78.7%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数	前年度比 119.6%	
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	0
施設使用料年間収入額	前年度比 68.2%	

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	マレットゴルフ場の利用者減少 宿泊業務を担える嘱託職員の雇用	
改善方法	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	マレットゴルフ場は、無料施設であるが整備から管理までコストや労力がかかる。今後、テントサイトの増設を含め、活用について検討する。	
改善開始時期	2019年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
内容	予定事業費	円	予定時期

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	5108	塩嶺野外活動センター管理事業
-----	------	----------------

1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
報酬			0	
共済費			0	
賃金			0	
需用費			0	
役務費			0	
委託料			0	
使用料及び賃借料			0	
原材料費			0	
工事請負費			0	
負担金補助及び交付金			0	
合計	0	0	0	

2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数		0.00	0.00人
合計	0	0	0円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0

施設の運営コスト計算シート

事業名	5108	塩嶺野外活動センター管理事業
-----	------	----------------

1 施設の運営にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
報酬	2,186,400		2,186,400	
共済費	311,699		311,699	
賃金	326,051		326,051	
需用費	633,213	114,480	747,693	臨時：水道管口径修繕工事
役務費	219,619		219,619	
委託料	200,500		200,500	
使用料及び賃借料	767,067		767,067	
原材料費	97,327		97,327	
工事請負費			0	
負担金補助及び交付金	2,000		2,000	
合計	4,743,876	114,480	4,858,356	

2 施設の運営にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.40		0.40人
合計	3,200,000	0	3,200,000円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
施設使用料	676,190		676,190	
実費徴収金	86,390		86,390	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	762,580	0	762,580	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	7,181,296	114,480	7,295,776